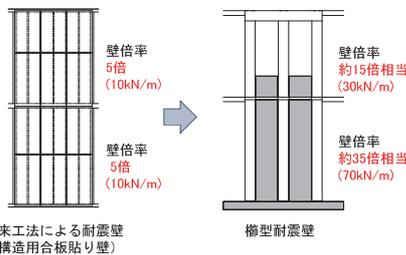
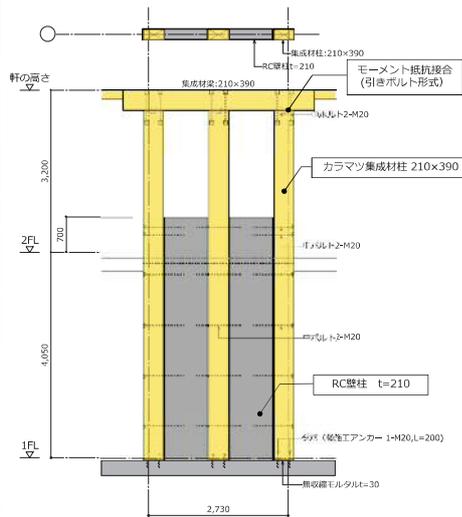


JSCA賞新人賞 木下洋介
オガールベース

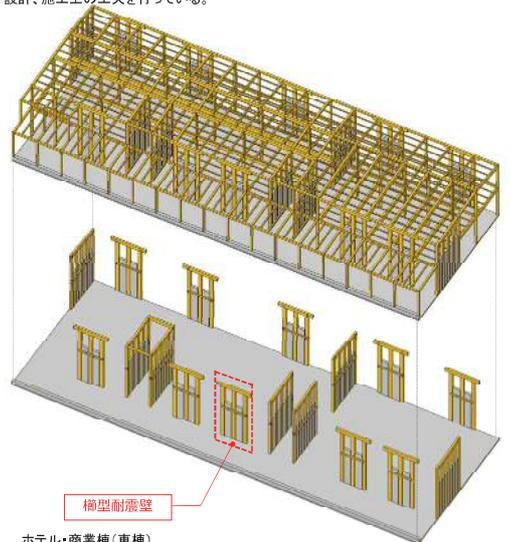


楕型耐震壁



本建築物は民間事業者が行政と連携して地方の公有地を活用する先進的な公民連携事業であり、バレーボール専用体育館とホテル、店舗を整備して合宿・研修ビジネスを展開し、町の滞在交流人口の拡大を図るユニークなまちづくり事業の中心施設である。建物は中央の体育館棟と両脇のホテル・商業棟2棟の3棟からなる。地場産材の利用を念頭に構造はいずれも木造を主体とし、紫波町内の施工者による施工を前提として、様々な構造的課題をできるだけシンプルに解決している。

ホテル・商業棟の2棟はいずれも1階がホテルラウンジ・商業施設で開放的、対して2階は部屋割り細かいホテル客室であるため、上下階の壁位置が異なり耐力壁の配置が困難である。それに加え、今後数十年に渡る建物の活用と将来の改修等を念頭におくと、耐震要素は空間に対して最小限であることが要求された。そこでこれらの条件に対応した耐震要素として、RC柱と集成材柱を交互に配置した「木+RC楕型耐震壁」を考案した。楕型耐震壁は1階では床から片持ち支持となるRC壁柱(210×700~900)が地震力を負担し、2階はRC壁柱で脚部を固定された集成材柱(210×390)が地震力を負担する。施工は通常の木架構と同様に建て方を行ったのち、耐震壁のRC壁柱の配筋を行い、木柱を頼りに型枠を立て込んでコンクリートを打設するのみであり、支保工も少なく低コストであり純木造の延長で施工可能である。町内の施工者のご協力により支障なく施工を行うことができた。その他に準耐火構造とするための燃える設計、住宅用流通サイズの集成材、製材と既成の木造住宅用金物の多用による合理化、構造用木材はすべて地場産材の採用などの設計、施工上の工夫を行っている。



■建物概要

- 所在地 : 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-12
- 建築主 : オガールベース株式会社
- 設計者 : らいおん建築事務所 + 木村設計A・T
- 施工会社 : 構建設
- 建物規模 : 地上2階
- 建築面積 : 2,800㎡
- 延床面積 : 4,300㎡
- 高さ : 11.8m(体育館部分)
- 主要用途 : ホテル、商業施設、体育館
- 主要構造 : 木造、一部鉄筋コンクリート造

楕型耐震壁の施工過程



ホテル・商業棟(東棟)